

社会福祉法人 音更町社会福祉協議会(音更町)



社会福祉法人
音更町社会福祉協議会



仕分けされた食品



フードバンク事業を担当している佐々木さん

◇【活動開始の経緯】

◆ 佐々木さんは2020年3月に貸付が開始された「コロナ特例生活福祉資金」の業務を担当していた。延べ760件の利用申請を受け付ける中で、貸付終了後の生活困窮者世帯の生活に不安を感じ、**独自支援として生理用品や野菜の無料配布を実施した**。また、町内の社会福祉法人より災害防災備蓄品の提供があり、生活困窮者に配布したところ多数の受け取り希望者がいたことで、**食料支援事業の需要を感じ、2022年4月から正式にフードバンク活動を開始した**。

◇【活動の概要】

◆ 社会福祉協議会に相談に来た食料支援を希望する方に申請書を提出してもらい、**保管庫から必要な物を選んで持ち帰ってもらっている**。
◆ 食品は寄付先に直接引き取りに行っている。町民や町内の事業者から多数の寄付を受けている。

【組織の概要】

- 団体名: 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会
- 所在地: 河東郡音更町大通11丁目1番地
- 代表者: 会長 植田 公明
- 活動開始時期: 2022年
- HP: <http://otofuke-shakyo.jp>
- 取扱品: 穀類(米、乾麺等)、砂糖類、お菓子、調味料、缶詰、レトルト食品、カレー・シチュー、粉ミルク等
- 提供の条件: 賞味期限1か月以上のもの、常温保存可能なもの、未開封のもの

【取組む際に生じた課題と対応方法】

◆ 相談に来る利用希望者の中には電気やガス等の生活インフラが止まってしまっている方もいる。
→ **常温保存ができて、調理をしなくても食べられるような食品を確保している**。
また、社会福祉協議会として「安心サポート事業」に加盟しているため、経済的な援助を行って生活インフラの維持を支援することもできる。

音更町社会福祉協議会の食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

◆ 利用者にはフードバンクによる食料支援を数か月に渡って利用せざるを得ない方もいるため、**音更町や関係機関と連携して自立支援を進めていきたい**。